

なぜ、若手社員は期待通りに成長をしないのか

- 「4大考動力」強化のご提案-

最近の若手社員特徴

言われたことしかしない、何を考えているかわからない、失敗を恐れてチャレンジしない、目標意識や向上心が低い、競争意識が低いなどが挙げられます。

実際、こういった特徴を改善するため、研修やセミナー、通信教育などでその改善を図ろうとしている企業は少なくありません。

しかし、**なかなかその効果を実感できない**というのが、教育担当者の本音ではないでしょうか。

なぜこのようなことが起きてしまうのか、それは、そもそも**若手社員がビジネスパーソンとしての基本要件を満たすことができていない**からです。そして、その基本要件とは、大きく分けて以下の4つであり、若手社員成長のためには必須の教育内容となっているのです。

若手社員成長の鍵「4大考動力」
①考える力 ②初動力 ③やりきる力 ④挑戦力

なぜ「4大考動力」が必要か

4大考動力が欠如している若手社員は、例えば、以下のような行動を取りがちです。

「4大考動力」欠如の行動例
お客様の発言を鵜呑みにし、その真意まで考えない（「なぜ？」の欠如）
会議で発言がなく、聞いても「大丈夫です」（自分の意見がない）
自分以外に興味を持つ習慣が乏しく、雑談すら上手くできない
お客様に資料送付を頼まれたが、すぐに対応しない（面倒なことは後回し）
プロジェクトを任せても机上で考えてばかり、いつまで経っても行動に移さない
できない理由ばかりを考え、目標未達でもすぐに諦める
“競合に絶対勝つ”という強い信念がなく、失注してばかりしている
自分の苦手なことからすぐに目を背け、成長機会を逸する

このように、上記4項目の強化無くしては、どんな教育を施しても徒労に終わってしまいかねないのです。

弊社では、4大考動力を効果的に修得する研修プログラムを実施しております。是非、ご興味ある方は、ご連絡を下さい。



> お問い合わせはこちら